

作成日: 2012年5月11日

改訂日(V.3): 2016年4月12日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: 日農バウンティフロアブル

会社名: 日本農薬株式会社
 住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目 19番 8号 京橋OMビル
 担当部門: 環境安全部
 TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451
 e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号:(平日) 03-6361-1426 (環境安全部)
 (休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)

用途及び使用上の制限: 農薬(植物成長調整剤)、農薬登録以外の使用は不可
 MSDS番号: 526-27(M12-08)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
環境に対する有害性	急性水生有害性	区分3
	慢性水生有害性	区分3
	* 記載が無いものは「分類対象外」または「分類できない」	

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	—
注意喚起語	警告
危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ
	水生生物に有害
	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- 必要な時以外は環境への放出を避ける。

【応急措置】

- 気分が悪い時は医師に連絡する。

【廃棄】

- 内容物や容器を廃棄する場合は、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

国・地域情報 —

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

有効成分化学名(一般名)

(2RS, 3RS)-1-(4-クロロフェニル)-4,4-ジメチル-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)ペンタン-3-オール
 (一般名 パクロブトラゾール)

成分及び含有量	含有量	化学式	CAS No.	官報公示整理番号
成分 パクロトラゾール 〈その他〉	21.5%	$C_{15}H_{20}ClN_3O$	76738-62-0	—
シリカ	0.3%未満	—	—	(1)-548
水、界面活性剤等	残	—	—	—

安衛法通知対象物(2016年6月1日から安衛法表示・通知対象物)

4. 応急措置

吸入した場合：	被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。保温、安静に努め、直ちに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合：	汚染された衣類を脱ぎ、付着又は接触部を石鹼で洗浄し多量の水を用いて洗い流す。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受ける。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合：	直ちに清浄な流水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。医師の診断、手当を受ける。
飲み込んだ場合：	無理に吐かせないで直ちに医師の手当を受けさせる。可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示す。
医療関係者への情報：	活性炭等の吸着剤の投与が有効である。嚥下後4時間以内であれば胃内容物の吐出及び胃洗浄は有効である。ただし、患者に意識が無い場合は嘔吐させてはいけない。その他、保温、酸素療法、人工呼吸等の一般的治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時：	噴霧放水、耐アルコール性泡、粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	大規模火災時：	噴霧放水、耐アルコール性泡
特有の危険有害性	棒状放水	
特定の消火方法	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合には、容器及びその周囲に散水して冷却する。汚染された消火水を排水路や河川等に流入させてはならない。	
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。	

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。
除去方法	土砂など不燃性の吸収剤で漏出物を吸収し、密封できる廃棄物用容器に回収する。回収後、汚染部を水で洗浄する。
二次災害の防止策	風下の人を退避させ、漏洩した場所の周囲にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触や吸入を避ける。 作業は換気のよい場所で行う。 取扱い時には飲食、喫煙をしない。 取扱い後は手や顔などの露出部をよく洗い、うがいをする。 ラベルをよく読んでから保管・使用する。 製品の飛散、漏出等がないようにする。
-----	---

保管	<ul style="list-style-type: none"> ・換気のよい冷暗所で、密封出来る容器に入れて保管する。 ・小児の手の届く所には置かない。 ・食品や飼料と区別して保管する。
----	---

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。
管理濃度	TWA値(シンジェンタ社) パクロボトラゾール 5 mg/m ³ (8hr)
許容濃度	日本産業衛生学会 未設定
	ACGIH TWA値 未設定
保護具	呼吸器用の保護具 保護マスク
	手の保護具 不浸透性手袋
	眼の保護具 ゴーグル型保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具 耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
形状	水和性粘稠懸濁液体
色	類白色
比重	1.07 (25°C)
pH	8.22 (5倍希釈)
オクタノール/水分配係数	パクロボトラゾール log Pow = 3.2 (20°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	通常の条件下では安定。
危険有害な分解生成物	通常の条件化では生成しない。加熱や燃焼により、有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口LD50 (ラット) >6000 mg/kg (♂)、2880 mg/kg (♀)
	経皮LD50 (ラット) >5000 mg/kg
刺激性	皮膚刺激性 (ウサギ) 軽度の刺激性
	眼刺激性 (ウサギ) 軽度の刺激性
感作性	皮膚感作性(モルモット) 感作性なし
慢性毒性	パクロボトラゾールは、動物実験において発がん性、変異原性を示さなかった。 パクロボトラゾールは、母動物に影響が出るような非常に高い薬量では、胚/胎児にも影響がみられたが、催奇形性はない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水産動植物への影響	LC50 コイ (96hr) >40 mg/L
	EC50 オオミジンコ (48hr) >1000 mg/L
	EbC50 藻類 (72hr) 18.1 mg/L
	ErC50 藻類 (72hr) 99.9 mg/L

13. 廃棄上の注意

注意事項	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。</p> <p>空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。</p>
------	---

14. 輸送上の注意

国際規制	危険物に該当しない
国連分類	—
国連番号	—
品名	—
容器等級	—
海洋汚染物質	—
輸送時の安全対策	<p>運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。</p>

15. 適用法令

農薬取締法

化管法：非該当

労働安全衛生法：

表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条)：

表示対象物	2016. 5. 31 まで(改正法施行前)	2016. 6. 1 から(改正法施行後)
シリカ	—	政令番号 312 (対象となる範囲 0.1%以上)

通知対象物質(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2)：シリカ(政令番号 312)

16. その他の情報

参考文献：製品安全データシート「バウンティフロアブル」2011年7月1日改訂(第8版)、シンジェンタジャパン(株)作成

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。